

## 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和 2 年 3 月 11 日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法令の基準を上回るスペースを確保し、児童に分かりやすく学習指導室、余暇室に分け、集中できる環境です。	今後も定員とスペースが適切な関係になるよう努め、工夫して参ります。
	2	○		法令の基準以上の人員配置で、また基準以上に保育士や児童指導員の専門職員で対応しており、児童の入室から退出まで、目を離すことがないよう十分な人員配置を行っています。	今後も適切で専門性のある職員配置を行って参ります。
	3	○		事業所は、商業ビルの2階に位置しますが、室内はカーペットを敷き、バリアフリーとなっています。室内では児童の動線を考慮し、安全に机や棚の位置を設定しています。建物の構造上、トイレが室外にあるので、利用時は必ず職員が付き添い、細心の注意を払っています。	歩行に困難がある児童を受け入れることになった場合は、手すりなどの設置を検討いたします。今後も継続して児童の安全に配慮し、適切な環境を心掛けて参ります。
	4	○		毎日児童の退所後に、机・椅子・道具等も消毒し、清掃を徹底しています。療育を行うスペース余暇のスペースを分け、児童に理解しやすい環境の整備に取り組み、部屋の入口の動物の絵のマークを貼るなど、視覚的にも分かりやすく活動しやすいよう配慮しています。	衛生環境への配慮は継続し、尚一層児童の特性に配慮し、活動に合わせた活動空間を保つよう心掛け、児童にとって居心地の良い空間作りを心掛けて参ります。
業務改善	5	○		主に定期的なフレクシオン会議で、常勤、非常勤問わず参画し、PDCAサイクルに則って現状把握と改善点を討議しています。	今後も会議で各自が評価し、業務の改善策を検討し、提案し、討議して参ります。
	6	○		保護者向け評価表を活用し、業務改善に繋げています。頂いたご意見は、職員で周知・検討し、改善に向けた会議を実施しています。	今後も頂いた評価に基づき業務改善に繋げていきます。ご意見を踏まえて、できることから少しずつ業務改善を行って参ります。
	7	○		自己評価の結果は、公式 Web サイトで公開しています。	今後も、公式 Web サイトにて公開を行って参ります。
	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後課題として検討して参ります。
	9	○		事業所内外での各種研修を積極的に受講し、事業所内で共有し、資質の向上に努めています。	今後は年間計画を立て、テーマを決め、研修回数を増やし、更なる職員資質向上に努めて参ります。
適切な支援の提供	10	○		アセスメントを適切に行い、客観的視点で分析し、児童の状況は頂いた検査結果の複写や職員からの意見も参考に、かつ保護者様のご意向を踏まえ、計画を作成しています。	適切なアセスメントを継続し、今後は保育所保育指針や学習指導要領等も踏まえ、保護者様のご意向に沿った支援計画となるよう努めます。
	11	○		標準化されたアセスメントツールと医師の検査結果を活用し、適応行動の状況を把握しています。	今後も継続して正確にアセスメントができるよう努めて参ります。
	12	○		ガイドラインを遵守し、かつ、児童一人ひとりの状況や児童・保護者様のご意向や課題から必要な支援内容や優先順位を踏まえ、提供すべき支援内容を組み合わせています。	今後もガイドラインに沿って、概ね半年ごとに、また必要であれば適宜、モニタリング、担当者会議にて見直しを行い、児童・保護者様のご意向を踏まえ、具体的な支援内容、個別支援計画を作成して参ります。
	13	○		個別支援会議等で全職員が計画案の内容把握を行い、計画に沿った支援を行っています。	今後も継続して支援計画に沿った支援が行われるよう、都度児発管にも確認し、助言を仰ぎながらより良い支援を行って参ります。
	14	○		ケース会議を設け、職員で話し合い児童の特性や課題に応じて、全員が立案に関わっています。	今後も活動プログラムは随時チームで立案・計画して参ります。
	15	○		一定期間ごとにプログラムを検討し、児童の成長に合わせて、固定化しないよう努めています。	今後も児童が意欲的に取り組む姿勢を引き出せるよう、職員で協力し、固定化しない活動提供を心掛けて参ります。
	16	○		個別支援計画の目標から、児童一人ひとりの特性に応じ、能力向上を狙う個別活動、関わりを学ぶ集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しています。	今後も年齢や特性に合わせた個別と集団のそれぞれを活動の組み合わせ、適切に支援計画を立案して参ります。
	17	○		毎朝その日の流れを確認し、その打ち合わせ内容を漏れなく記録し、職員の閲覧を徹底しています。朝礼ではまた当日利用の児童の支援内容や予定で役割分担も確認し、共通認識を図っています。	今後も毎朝当日の流れ・支援内容や役割分担について情報共有を行い、職員の認識一致の上で、支援に取り組んで参ります。
	18	○		支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しています。	今後も継続して共通認識に努め、報告・連絡・相談を徹底して参ります。
	19	○		全職員、毎日の個別支援経過の記録を徹底し、支援の検証・改善に役立て、改善に繋げています。	今後も継続して記録の記載を徹底して参ります。
20	○		定期的に必ずモニタリングを行い、児童の状況や課題を探り、保護者様のご意向を踏まえて、目標設定ができるよう児童発達計画の見直しや作成を行っています。	今後も定期的な面談や相談だけでなく日々の送迎時の何気ないことにも注意を払い、児童の現状を把握し、保護者様のご意向の確認の上、計画の作成や見直しを判断して参ります。	
関係機関や保護者との連携	21	○		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しています。	今後も児発管が参加し、計画や支援に活かしていきます。
	22	○		専門機関と連携し情報交換を行い、就業前準備等について助言を受け、おうち、児童が併用している他事業所とも意見交換ができるよう連携を図っています。	今後も関係機関とは積極的に連携を図り、研修や助言を受け、併用利用の事業所とも繋がりを絶やさず、より良い支援に活かしていきます。
	23	○		現在、医療的ケアが必要な児童の受け入れはありません。	今後、対象児童の受け入れを行うこととなった場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに向けて態勢を整えられるよう、検討して参ります。
	24	○		現時点では医療的ケアが必要な児童の利用はありません。	今後、対象児童の受け入れを行うこととなった場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに向けて態勢を整えられるよう、検討して参ります。
	25	○		保護者様と連絡を取り合い、訪問等の計画を立て、園の生体力と会議を行い、また事業所の療育を見学して頂いたり、事業所が園を見学する等の交流を通して情報提供し合い、相互理解を図っています。	今後も情報を切らさず連絡を取り合い、情報や助言を頂きながら、児童の課題に向き合って参ります。
	26	○		移行先の学校を訪問し、また担当者会議を通して情報提供・共有を相互理解を図っています。	今後も関係機関等へ支援内容や活動状況等の情報を提供し、児童の移行先での活動に役立てて頂きたいと思っております。今後は保護者様と学校と事業所で更に深い連携を図って参ります。
	27	○		児発管を中心に専門機関と連携して情報交換を行い助言を受け、併用が併用している他の事業所とも意見交換ができるよう連携を図っています。	今後も関係機関とは積極的に連携を図り、研修や助言を受け、併用利用の事業所とも繋がりを絶やさず努めて参ります。
	28	○		殆どの児童は保育園や幼稚園に通っており、個々で障がいのない子ども達との交流はできていますと考えます。現時点では事業所主催の交流の機会が企画できていません。	保護者様のご意見を仰ぎながら外部の子ども等との交流を検討し、相互協力により活動の場を広げられるよう検討して参ります。
	29	○		今年度は、協議会への参加機会はありませんでした。	今後は研修や講義等に積極的に参加し、能力向上に繋げて参ります。
	30	○		連絡ノートや送迎時の面談を活用し、保護者様との情報交換を行い、児童についての共通理解を深めています。	今後も引き続き保護者様と情報共有の充実を図り共通理解に努めます。
保護者への説明責任等	31	○		できる限りのご支援に努め、送迎時や連絡帳のやり取りを通して、主にポジショニングについてや、児童との関わり方等の助言を行っています。	今後もペアレント・トレーニングを継続し、保護者様のお悩みに寄り添った支援に努めて参ります。
	32	○		契約時、あるいは児発管様から求めたいつでも保護者様がわかりやすく丁寧にご説明を行っています。	これからも分かりやすく丁寧な説明を心掛けて参ります。
	33	○		保護者様のご意向やガイドラインにに基づいて支援計画を作成しています。保護者様への説明は専門用語を避け、わかりやすく丁寧に行っています。保護者様の同意を得ています。	今後も同様にご意向や児童の状況に応じて支援計画を作成し、丁寧な説明を心掛けて参ります。
	34	○		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っています。	今後も継続して、子育てのお悩みに添った助言を行い、保護者様に寄り添った対応を心掛けて参ります。
	35	○		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しています。	ご意向に配慮しながら、以前も企画したような保護者同士や保護者様と職員との交流機会を検討し、定例化して参ります。
	36	○		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。	今後も保護者様から忌憚なくご意見を頂けるよう信頼関係の構築に努め、相互協力により活動の場を広げられるよう検討して参ります。
	37	○		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しています。	今後も継続して情報発信を行い、保護者様にも更にご覧頂けるよう努めていきたいと思います。
	38	○		個人情報に記載された書類の廃棄はシュレッダーを利用し、保管は個人情報フォルダーは鍵付のキャビネットにて保管管理しています。写真掲載などの機会にも保護者様に書面にて同意を頂くよう配慮しています。	個人情報は今後も細心の注意を払い、取り扱いは保護者様だけでなく、他の方の目に触れないようにも配慮を行って参ります。
	39	○		児童には特性に合わせた伝達方法を選択し、保護者様には、専門用語を避け、分かりやすい説明や情報伝達を心掛けています。	今後も個々の特性を考えて参りながら、情報伝達や意思疎通に配慮して参ります。
	40	○		今年度は地域住民をご招待する企画を行うまでに至りませんでした。	今後は保護者様のご意向を踏まえた上で、地域イベントに児童と参加したり、事業所の行事に近隣の方々をお招きする等交流の機会を検討して参ります。
非常時等の対応	41	○		保護者様にもご覧頂けるよう、各種マニュアルは事業所に提示するとともに事業所内研修で共通認識を図っています。	各種マニュアルは新しい情報による更新を行い、整備に努め、保護者様へもご覧頂けるように継続して参ります。
	42	○		定期的に様々な災害を想定した避難訓練を実施しています。持ち出し品の定期点検も随時行い、備えを怠らないよう努めています。	今後は定期的な避難訓練を継続し、次回には不審者対応訓練なども訓練メニューに加え、児童とともに命を守る訓練を続けて参ります。
	43	○		アセスメントにて保護者様に服薬やてんかん発作等の状況確認は詳細に行い、服薬の変更等には十分注意し、保護者様に確認を取っています。園児ごとに対応マニュアルを作成し、それを支援用ファイルにも貼付し、全職員が把握し、緊急事態には適切で最善の対応が行えるよう図っています。	事前の情報収集だけでなく定期的に保護者様から情報の更新を確認し、職員に周知、振り返りを今後も行って参ります。
	44	○		医師の指示書は全て頂くことでできていますが、利用開始前に保護者様にも詳しい記載を依頼し、情報共有を徹底し、アセスメントシートを作成し、一覧にして周知し、アレルギー対応マニュアルも作成し、研修を行っています。	食物によるアレルギー発作を決して起こさないよう今後も細心の注意を払い、慎重に参ります。
	45	○		事案が発生した場合、直ちに記録し、ファイリングして、定期的に振り返りを行い、情報共有を行っています。	今後も記録し、情報共有、認識一致の上事故防止のため、都度振り返りを行って参ります。
	46	○		資料を元に虐待防止に関する勉強会を行い、討議しています。	今後は積極的に社内外的虐待防止への研修へ参加を行い、職員で考えていきたいと思っております。
	47	○		利用契約書には身体拘束の禁止が記載されており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は予め文書により保護者様の同意を得ることとしています。保護者様へ契約時に身体拘束についての説明は詳しく行い、身体拘束に関する知識と認識一致の為、定期的に事業所内研修を行っています。	今後も原則として「身体拘束を行わない基本姿勢」を守りながら、緊急時または、児童の命に関わる事象が起きた場合、止むを得ない状況に限り行われることを保護者様に十分に説明を行い、同意を得て、個別支援計画にも記載して参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。